

説明・記載例 (訴状・退職金)

- ①提出先の裁判所名を記載してください。
- ②訴訟物の価額(訴額)及び手数料額は被告に請求する内容によって決まります。

原告や被告が法人の場合には、法人の本店所在地、法人名、代表者の資格、氏名を記載してください。

【例】
○○市○○町○○番地

原告 ○○株式会社

同代表者代表取締役 ○○○○

○○市○○町○○番地

被告 ○○株式会社

同代表者代表取締役 ○○○○

訴状とともに提出する書類の名称を記載してください。
ここに例示されているような証拠書類があれば該当する「□」をレ点でチェックし、
その他の証拠書類があれば空欄の「□」をレ点でチェックして、書類の名称を記載してください。

訴 状

令和〇年〇月〇日

地方簡易裁判所(支部)御中

事件名 退職金 請求事件

訴訟物の価額 金 〇〇〇〇〇円

手数料額 金 〇〇〇〇〇円

住所(送達場所) 〇〇県〇〇市〇〇町〇番〇号

原 告 甲野 太郎 甲野印

電 話 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇〇〇

FAX 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇〇〇

住 所 〇〇県〇〇市〇〇町〇番〇号

被 告 乙株式会社
同代表者代表取締役 乙野 次郎

添付書類

<input checked="" type="checkbox"/> 登記事項証明書(商業登記簿謄本)	<input type="checkbox"/> 雇用契約書
<input type="checkbox"/> 求人広告(求人票)	<input checked="" type="checkbox"/> 就業規則
<input type="checkbox"/> 退職願	<input type="checkbox"/> 離職票
<input type="checkbox"/> 過去の給与・賞与等の支払明細書	<input type="checkbox"/> 労使の協約書
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【留意事項】
申立書は、裁判所用と相手方用として、正本、副本の2部を提出してください。
相手方が複数の場合は、相手方の数+1となります。

訴状の作成日を記載してください。

- ◎訴えを起こす方(原告)の住所、氏名、電話番号、FAX番号を記載してください。
- ◎印鑑は、認印(スタンプ式不可、法人の場合なるべく代表者印)でも結構です。押印は朱肉をご使用ください。
- ◎原告複数名が1通の訴状で訴えを提起する場合は、この欄をさらに書き加えてください。
- ◎裁判所からの書類を住所以外に宛てて送って欲しい場合には、「(送達場所)」の記載を削除し、別途、送達場所等の届出を行ってください。

訴えを起こす相手方(被告)の住所、氏名を記載してください。被告が複数名いる場合は、この欄をさらに書き加えてください。

被告が会社の場合には、その会社の登記事項証明書(商業登記簿謄本)を訴状とともに提出してください。

説明・記載例 (訴状・退職金)

請求の趣旨

1 被告は、原告に対し、次の金額を支払え。

金 ●●●●● 円

【上記の金額／上記の金額のうち金 ●●●●● 円】に対する【令和 ● 年 ● 月 ● 日／本訴状送達の日の翌日】から支払済みまで年 ● %の割合による金員

「訴訟費用」とは、申立手数料や証人に支払う旅費・日当などのことです。
(弁護士等の費用は含まれません。)

2 訴訟費用は、被告の負担とする。

との判決 【 及び仮執行の宣言】 を求める。

「請求の趣旨」とは、訴えによって求める判決内容の、簡潔かつ確定的な表示です。
あなたが被告に求める請求の内容を簡潔に記載してください。

◎仮執行の宣言とは、判決が確定する前に判決の内容に基づいて強制執行の手続に着手することを求めるものです。
◎これを希望する場合には、□をレ点でチェックしてください。

説明・記載例 (訴状・退職金)

あなたが被告のところでして
いた仕事(又はしている仕
事)を簡潔に記載してください。

請求の原因

1 原告は、【□平成／令和】 ●年 ●月 ●日から令和 ●年 ●月 ●日まで、
被告に雇用され、仕事（事務用機器
操作業務等）に従事した。

2 給与の定め

(1) 基本給 ●●●● 円

(2) 支払期日 每月 末 日締め 【□当月／翌月】 20 日払い

3 退職金について

(1) 退職金は、【就業規則／□雇用契約／□労働協約／□労使慣行】により、次の
算定基準によって算定された額が支給される。

(算定基準)
●●●●

(2) 上記(1)算定基準によれば原告の退職金の額は次の計算式のとおり

●●●●● 円である。

(計算式)
●●●●

(その他の参考事項は以下のとおり)

●●●●

「請求の原因」とは、請求の趣旨と相まって請求を特定する事項などです。請求を特定するのに必要な事実や請求を理由付ける事実など、請求の内容の法律的な根拠及び理由、あなたの主張を具体的に記載してください。

あなたが働いていた期間を記載してください。

被告(相手方)の言い分や、こ
の紛争について他に参考にな
ることを書いてください。